

平成 20 年第 1 回横須賀市議会定例会本会議（3 月 25 日）
民生常任委員長報告（議案）

ただいま議題となりました議案のうち、民生常任委員会に付託されました議案第 17 号中付託部分、第 18 号、第 20 号から第 22 号まで、第 24 号、第 27 号、第 30 号、第 31 号、第 36 号から第 42 号まで、第 50 号及び第 51 号の以上 18 件につきまして、委員会における審査の経過と結果を報告します。

委員会は、3 月 5 日、7 日、12 日、14 日及び本日の 5 日間会議を開き、所管の部門ごとに案の説明を聴取して質疑を行いました。

主な質疑を申し上げますと、議案第 17 号平成 20 年度横須賀市一般会計予算中付託部分は、民生委員・児童委員活動委託料額の妥当性、点字図書館の総合福祉会館移転による障害者と健常者の交流拡大、緊急通報システム貸与における自己負担の収入基準、診療費未払い等に対する生活保護費での対応、利用料金制指定管理者の収支状況把握、看護学校卒業生の市内就職率、総合福祉会館内での大人のおむつ交換場所の確保、児童相談所職員に対するメンタルヘルス、私立保育園の防犯カメラ設置に対する補助率の妥当性、療育相談センターにおけるワンストップサービス及びチームサポート、ごみ処理における資源化率の限界、南処理工場におけるプラスチックの焼却状況、地球温暖化に対するスタンス、ごみ収集ボックス及びカラスネットの配布状況、バイオガスプラントの現況、自主防災組織の結成率、避難所運営資機材の充足状況、消防広域化の検討状況、避難所運営資機材整備場所及び整備品目、救急搬送の現状、消防署等への災害対応型自動販売機の設置、新型インフルエンザへの対応についてであります。

議案第 18 号 平成 20 年度横須賀市特別会計国民健康保険費予算は、保険財政共同安定化事業拠出金の県全体の拠出額、結核精神医療給付金元受給者の障害者自立支援法への移行の状況把握、子どもに対する資格証発行の中止、特定検診実施率の向上のための方策についてであ

ります。

議案第 20 号平成 20 年度横須賀市特別会計老人保健医療費予算は、共同安定化事業拠出金制度の有無についてであります。

議案第 21 号平成 20 年度横須賀市特別会計介護保険費予算は、特別給付費における施設入浴サービスと搬送サービスの一括利用、介護保険給付費準備基金積立金の多額な残高に対する所見、認知症サポーター養成実績、介護予防サービス費の 2 月末の実績についてであります。

議案第 22 号平成 20 年度横須賀市特別会計母子寡婦福祉資金貸付事業費予算は、中核市移行時の債権の引き継ぎ状況及び総額、貸し付け対象者の収入の把握についてであります。

議案第 24 号平成 20 年度横須賀市特別会計後期高齢者医療費予算は、後期高齢者医療制度に対する本市医師会の反応、各自治体における収納率の自治体負担額への反映の必要性についてであります。

議案第 27 号平成 20 年度横須賀市病院事業会計予算は、市民病院における入院診療費包括算定導入の効果額、医療機器等購入への競争原理の導入、妊娠期定期健診未受診者への対応、うわまち病院精神科の再開見込み、分娩予約における里帰り出産への配慮、医療環境調査の内容及び期間等、未収金回収見込み及び成功報酬算定の根拠、医薬品在庫管理の現状についてであります。

議案第 36 号健康増進センター条例中改正については、健康増進センター駐車場の利用状況についてであります。

議案第 40 号横須賀市国民健康保険条例中改正については、応能・応益負担率改正の低所得層への影響についてであります。

議案第 51 号横須賀市病院事業条例中改正については、D P C 導入のデメリット、厚生労働省告示前の関連予算提案の妥当性についてであります。

次いで、討論はなく、採決の結果、議案第 22 号、第 31 号、第 36 号から第 38 号まで、第 41 号、第 50 号及び第 51 号の以上 8 件は全会一致で、議案第 17 号中付託部分、議案第 18 号、第 20 号、第 21 号、

第 24 号、第 27 号、第 30 号、第 39 号、第 40 号及び第 42 号の以上 10 件は賛成多数で、いずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。

以上で報告を終わります。